

教育経済学 小レポート（１）

三田 周之介 (09-221211)

東京大学 教育学部 比較教育社会学コース 3年

問 1

① 60歳まで働き続けるというライフコースを仮定する場合の私的内部収益率
8.61%

② 日本社会の女性にとって典型的だと思われるライフコースを仮定する場合の私的内部収益率

ここでは「29歳まで就労、30代は非就労、40歳から59歳まで就労」というパターンを考えてみる。この場合、①で用いたデータにおける30代の私的便益は0になる。それをを用いて計算すると、私的内部収益率は6.13%となる。

③ 「限界的な選択に直面している女性（18歳）にとって大学進学が経済合理的な進路である」と言えるかどうか

単純な私的収益率のみを考えると、手元に大学進学を乗り切ることができる資本がある場合、大学進学が経済合理的な進路であるといえる。